

希望が持てる社会は 憲法のなかにある。

大川 真美さん

北勢労連・ひよこ会労組おおぼこ
保育士 (25歳)



出口 洋介さん

南勢ユニオン・青年支部
非正規労働者(24歳)



三宅 裕一郎さん

津市立三重短期大学教授
専門は憲法(41歳)

みえ労連は若い世代に運動を伝えたいと、年末年始に「若いあなたに、お聞きします(30歳代以下限定)」というタイトルで「憲法と青年アンケート」を実施しました。

アンケートは、憲法第9条(戦争放棄)、第13条(幸福追求権)、第25条(生存権保障)、第27~28条(働くルールなど)、第96条(改憲手続き)を想定した項目としました。年末年始の短期間の取り組みにも関わらず、300名を超える青年たちに回答していただきました。その結果をもとに若者代表の大川さん、出口さんと若い憲法学者の三宅先生の座談会を行ないました。

(2014年1月12日みえ労連会館2階会議室)

東日本大震災避難者等の状況

	発災3日目※1 (平成23年3月4日)	現時点(平成25年10月10日) ※2		
		全体	避難所にいる者	住宅等にいる者
避難者等の数	約47万人	282,111人	67人	267,093人

※1 緊急災害対策本部資料 青森県、岩手県、宮城県、福島県、茨城県、栃木県の避難状況の合計

※2 復興庁調べ 全国の避難所(公民館・学校等)、旅館・ホテル、その他(親族、知人等)、住宅等(公営、仮設、民間、病院含む)にいる者の合計

「東日本大震災からの復興の状況に関する報告」(平成25年11月 復興庁)

大川 四日市の保育園に勤める保育士です。職場の学習会や母親大会で、憲法のことばは昨年3回ぐらい勉強しました。でも分からないことばかりなので、ぜひ詳しくお聞きします。

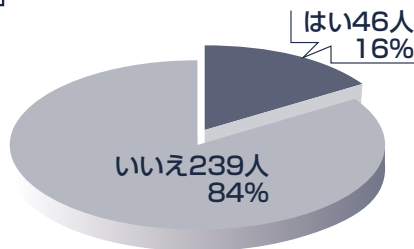
出口 伊勢市出身です。憲法については自民党の改正草案を読んだり、現行憲法と見比べてたりして、自分なりに考えています。自民党の「日本国憲法改正草案Q&A」はとてもおもしろいなあと感じます。ブラック

みえ労連・憲法と青年アンケート

1 「若いあなたに、お聞きします」

- 対象
みえ労連加入の青年および未加入・未組織の青年(30歳代以下限定)
- 実施期間
2013年12月24日~2014年1月8日
- 配布数500枚・回収数309人(未記入あり)
- 年代
20歳代以下: 139人
30歳代: 139人
- 性別
男性: 96人
女性: 205人
- 雇用形態別
正規: 233人
非正規など: 76人
- 組合
加入: 203人
組合なし(未加入): 96人
- 意見欄記入 182人

2 原発は再稼働すべきですか?



- はい**
- 安定した電力が必要だから
 - きれいごとを言っても、みんな自分の生活レベルは落とせないのでは?
 - 電気代が安くなるから
 - 繰り返し使用できるエネルギーは有効に活用すべき
- いいえ**
- 日本のような地震が多い国ではすべての危険を排除できない
 - 放射性廃棄物が処理できない
 - 今、ほとんどの原発が停止している状態でも何とか回っている
 - リスクが高すぎる。人間の力で制御できないものを作ってはいけな
 - 福島状況を見ればそう思う

三宅 まず今回のアンケートに短期間で309人も回答があったのは驚異的ですね。

大川 今回の事故でたくさんの方が被害を受けているので、もう原発はなくてもいいのかなあと感じます。ひどい事故が起きたら取り返しがつかないですから。

出口 原発については、以前は全く意識がなかったのですが、ブラック企業を辞めて社会に目を向けはじめたら、こんなに問題だらけ

三宅 「再稼働イエス」の人の意見欄を見ると、安全性が確保できればこれほど重要なエネルギーはないという声があります。それでも必要ないといえそうですか?

出口 安全性確保の保証はないんじゃないですか。仮定の話をしてもしょうがない。それより他の代替エネルギーの開発にお金を回すべきです。日本の技術力があれば可能だと思います。使用済み核燃料の問題もありますし...

三宅 僕も二人と同じ考えです。安全性の確保は仮想の問題で、事故の被害を放置したままでの議論に何の意味があるのかなあと感じます。使用済み核燃料や廃炉の問題は将来にツケを回すことになります。原子力の「安全神話」が間違っていたことが今回はっきりした以上、原子力依存は脱却すべきときに来ていると思います。

また原子力には軍事転用の可能性がります。被爆国である日本が原子力べったりは不健全です。その意味でも原発の再稼働は筋が通らないのではないかと思います。

アンケートでは 原発の「再稼働ノー」が圧倒的多数

企業に勤めていましたが辞めました。その経験が社会や憲法問題を考えるきっかけになりました。

三宅 三重短期大学で憲法を担当しています。三重に来て6年目、出身は岩手県奥州市(旧水沢市)で、

今日は若いお二人と楽しくトークできたらいいなあと感じています。